



2015年7月14日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 コーポレートガバナンス推進担当
 IR・グループ広報
 TEL 03-6895-0178

2015年6月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	6月度	3～6月度累計
百貨店事業	1.8	▲ 0.9
パルコ事業	▲ 0.4	3.3
卸売事業	26.8	18.6
クレジット事業	▲ 4.0	▲ 4.7
その他事業	▲ 3.3	▲ 2.8
連結合計	2.4	0.6

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・6月度の百貨店事業の売上高は、日曜日が対前年▲1日減であったことに加え、前年は6月27日にスタートしたクリアランスセールが本年は7月スタートとなったことによる大きなマイナス影響があったものの、好調を続ける訪日外国人売上などにより宝飾品、ラグジュアリーブランド、化粧品が大幅に売上を伸ばしたことから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年2.7%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同1.8%増となった。

2) パルコ事業

- ・一部店舗で開催した期間限定の集客型イベントがヒットしたほか、身回品や雑貨などが好調を持続したものの、前年は6月27日にスタートした名古屋パルコのセールが本年は7月スタートとなったことや、日曜日が対前年▲1日減となったことが影響し、パルコ事業全体では対前年▲0.4%減となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、電子デバイスが好調を持続し大幅に売上を伸ばしたことから、対前年26.8%増となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、年会費収入や割賦販売手数料収入などが増加したものの、前年に大幅増となった加盟店手数料収入が減少したことから、対前年▲4.0%減となった。
- ・その他事業は、フォーレストや人材派遣業のディンプルが好調であったものの、J.フロント建装の前年大型改装工事売上計上の反動減の影響により、対前年▲3.3%減となった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	コーポレートガバナンス推進担当 IR・グループ広報
TEL	03-6895-0178	
FAX	03-6674-7565	

2015年6月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	6月度		3～6月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	20.3	▲3.7	13.6	▲3.8
大丸 梅田店	2.0	▲17.9	4.1	▲16.3
大丸 東京店	0.1	▲6.4	1.7	▲5.4
大丸 浦和パルコ店	▲5.3	▲7.5	▲5.0	▲4.9
大丸 京都店	1.7	▲18.8	▲1.5	▲12.6
大丸 山科店	▲7.4	▲6.2	▲6.8	▲6.8
大丸 神戸店	▲2.7	▲14.5	▲4.9	▲11.2
大丸 須磨店	▲7.4	▲13.2	▲6.1	▲12.8
大丸 芦屋店	▲5.1	▲10.8	▲3.8	▲10.2
大丸 札幌店	1.2	▲12.4	1.5	▲11.0
松坂屋 名古屋店	1.2	▲12.0	▲3.4	▲7.1
松坂屋 上野店	5.9	▲13.5	▲7.9	▲20.7
松坂屋 静岡店	▲4.0	▲11.1	▲8.3	▲8.1
松坂屋 高槻店	▲3.9	▲17.5	▲6.6	▲18.9
松坂屋 豊田店	▲7.6	▲3.6	▲3.7	▲1.8
大丸松坂屋百貨店合計	2.7	▲12.0	▲0.3	▲10.4
博多大丸	▲5.5	▲5.2	▲5.1	▲4.8
下関大丸	▲6.6	▲6.6	▲8.5	▲9.0
高知大丸	▲5.5	▲4.8	▲6.1	▲2.6
百貨店事業合計	1.8	▲11.4	▲0.9	▲10.0

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	6月度	3～6月度累計
紳士服・洋品	▲4.6	0.4
婦人服・洋品	▲2.0	▲1.7
子供服・洋品	▲10.2	▲1.9
その他の衣料品	▲9.6	▲14.7
衣料品計	▲3.2	▲1.9
身 回 品	▲7.1	▲5.2
化粧品	29.9	16.2
美術・宝飾・貴金属	38.8	6.0
その他雑貨	18.6	29.5
雑 貨 計	33.0	12.1
家 具	4.0	▲22.2
家 電	▲19.3	▲5.6
その他の家庭用品	3.1	▲2.8
家庭用品計	2.3	▲7.7
生 鮮	1.8	0.4
菓 子	0.1	▲1.7
惣 菜	▲1.0	1.6
その他食料品	0.5	▲2.2
食料品計	0.2	▲0.5
食堂・喫茶	▲2.0	▲0.5
サービス	2.7	6.6
そ の 他	11.5	▲0.5
合 計	2.7	▲0.3

3. 売上高概況

前年は6月27日にスタートしたクリアランスセールが、本年は全店で7月スタートとなったことから、婦人服・洋品、紳士服・洋品、身回品は対前年マイナスとなった。雑貨は、時計が前年の5割増、宝石は3割増と大幅に売上を伸ばし好調を持続したほか、化粧品も3割増となった。家庭用品は、家具・敷物のほか、食器・調理用品などが売上を伸ばした。食料品は、新規物産展催事の開催による生鮮食品の売上増加などにより対前年プラスとなった。